

平成27年度 全国がん検診従事者研修会 プログラム

2015年5月25日(月) 国立研究開発法人国立がん研究センター(東京都中央区築地5-1-1)
10:00 - 16:00 国際研究交流会館 3階国際会議室

10:00-10:05	国立がん研究センターがん対策情報センター長より挨拶(開会の挨拶)	若尾 文彦 (国立がん研究センター)
10:05-10:10	厚生労働省より挨拶	藤下 真奈美 (厚生労働省健康局がん対策・健康増進課)
10:10-10:25	この研修会の目的について 司会・講師の紹介	斎藤 博 (国立がん研究センター)

<理論>

10:25-11:00	1. がん検診の有効性評価について ~アセスメントの基礎 (35分*)	【資料1】 濱島 ちさと (国立がん研究センター)
11:00-11:45	2. がん検診の精度管理について ~マネジメントの基礎 (45分*) ・ 検診の種類(対策型/任意型、地域/職域、個別検診/集団検診) ・ 検診精度管理とは ・ 検診精度管理の指標(厚労省でオーソライズされるまでの背景など) ・ 精度管理における都道府県/市区町村/検診機関の役割 ・ 精度管理評価の公表	【資料2】 中山 富雄 (大阪府立成人病センター)
11:45-12:10	3. 各精度管理指標(チェックリスト・プロセス指標)の読み方 (25分*) ・ チェックリストの構成/プロセス指標値の解釈	【資料3】 青木 大輔 (慶應義塾大学医学部)
12:10-12:30	質疑応答 (20分)	
12:30-13:30	昼食休憩 (60分)	

<実践>

13:30-15:40	4. 都道府県にお願いしたい活動について (130分)	
	(1) 国立がん研究センターが提示する精度管理ツールの活用 (20分*) ・ 各種調査の目的/方法/内容/公表方法、年間スケジュール ・ 各種教育ツール ・ 行政担当者との相互コミュニケーションツール(開設目的/利用方法) ・ その他の情報提供(チェックリスト改定など)	【資料4】 事務局(国立がん研究センター)
	(2) 日常業務でご留意いただきたい点 (50分*) ・ 子宮頸がん検診 ~ 地域保健・健康増進事業報告の変更点など ・ 肺がん検診 ~ 指針改定のポイント、地域保健・健康増進事業報告の注意点など	【資料5】 齊藤 英子 (国際医療福祉大学三田病院) 【資料6】 中山 富雄 (大阪府立成人病センター)
	(3) 受診率の計測について (30分*)	【資料7】 松田 一夫 (福井県健康管理協会県民健康センター)
	(4) 都道府県の精度管理体制向上の取組み(ケーススタディ) (30分*)	事務局(国立がん研究センター)
15:40-15:55	質疑応答・全体討論 (15分)	【資料8】 斎藤 博 【資料9】 (国立がん研究センター)
15:55-16:00	閉会の挨拶 (5分)	斎藤 博 (国立がん研究センター)

* 各講演時間には質疑応答(5分)が含まれます